

エコギャラリー新宿

新宿区立環境学習情報センター
新宿区立区民ギャラリー



開館時間：10:00～21:00

(区民ギャラリーは10:00～18:00)

休館日：毎月第4月曜日および12月29日～1月3日

※第4月曜日が祝日の場合は翌平日が休館日となります。

〒160-0023 新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内

TEL:03-3348-6277 FAX:03-3344-4434

E-mail: info@shinjuku-ecocenter.jp

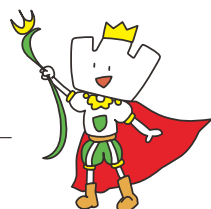
URL: https://www.shinjuku-ecocenter.jp/



エコギャラリー新宿 検索

エコ王子

エコギャラリー新宿
イメージキャラクター



アクセス

徒 歩：新宿駅西口より約15分（マップ参照）

バ ス：●CH01 都庁循環線

新宿駅西口循環

「都庁第一本庁舎」下車 徒歩5分

●京王バス 宿32「佼成会聖堂前」行／宿33「永福町」行

新宿駅西口ターミナル〔17番のりば〕

「十二社池の下」下車 徒歩1分

地下鉄：●大江戸線「都庁前」駅 A5出口 徒歩5分

●丸ノ内線「西新宿」駅 2番出口 徒歩10分

※当施設は駐車場を設けておりません。

ご来場の際は徒歩または公共交通機関にてお越し下さい。



「エコトス」とは

この雑誌には、よく耳にする環境にまつわるワードを一から解説し、誰かに話したくなる、トライしたくなるような情報を掲載しています。

エコトスの「トス」とは、スポーツで近くにいる味方へ、ボールを軽く投げ渡すことです。この雑誌を読んだあなたが、近くにいる誰かへエコな情報を投げ渡し、エコな世界がどんどん広がっていくことを願い、「エコトス」と名付けました。

ゼロカーボン チェックリスト

「ゼロカーボン」に向けて、わたしたちの毎日の生活にもできることがたくさんあります。
以下のリストをチェックしてみて、
みんなでCO₂削減を実践しましょう！

- ☐ 節水・節電を実施している。
- ☐ 買い物の際にマイバッグを使用している。
- ☐ ごみの分別を行っている。
- ☐ 植林やごみ拾い等の活動に参加したことがある。
- ☐ 日頃から徒歩や自転車で移動している。
- ☐ 家庭で省エネ家電を導入している。
- ☐ 電気自動車などの環境にやさしい自動車を使用している。
- ☐ 家庭に太陽光パネルが設置されている。
- ☐ 食事の際に食べ残しが出ないように意識している。
- ☐ フードバンクに食品を寄付したことがある。
- ☐ 洋服を購入する際に素材や製造過程に気を配っている。
- ☐ 普段から古着やリメイクされた衣服などを身に着けている。

2023年3月発行
発行・編集／エコギャラリー新宿
表紙写真／新宿中央公園 芝生広場

エコトス

EcoToss

特集

ゼロカーボン 脱使い捨て プラスチック

Vol.1
2023
TAKE FREE

エコギャラリー新宿 環境情報誌

ゼロカーボンって？

「ゼロカーボン」とは、二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスの排出量をできるだけ減らし、森林などによる吸収量を増やすことで、温室効果ガスの排出量を“実質ゼロ”にすることです。また、「カーボンニュートラル」と同じ意味で使われています。

日本のCO₂総排出量は12億1,200万t-CO₂です。そのうち東京都のCO₂排出量は約4.7%にあたる5,461万1千t-CO₂となっており、この数値はオーストリア、ギリシャなど1国分の排出規模に相当します。新宿区の排出量は特別区（東京23区）の中でも5番目に多い、259万5千t-CO₂となっています。この数値を減らしていくことが、日本のゼロカーボン実現に大きく影響するといっても過言ではありません。

そこで、新宿区は2021年6月5日に、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けて取組むことを表明しました。新宿区にかかわる様々な人や事業者、団体が自分ごととしてそれぞれの役割を果たし、連携・協働していくことが必要です。

出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」2019年度温室効果ガス排出量（推計）算定結果より
東京都環境局HP「東京都における最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量総合調査」（2019年度実績）
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/zenpan/emissions_tokyo.files/2019gaiyo.pdf
東京都環境局HP「環境先進都市・東京に向けて～CREATING A SUSTAINABLE CITY～」(2021年)
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/basic/plan/white_paper/a_sustainable_city.files/creating2021_1_1110.pdf

ゼロカーボンのキーワード

再生可能エネルギーは、自然を活用するので、温室効果ガスを排出せずに持続的に利用できるエネルギー源です。また、再生可能エネルギーには太陽光・風力・水力・地熱などさまざまな種類のものが存在します。

太陽光発電は、太陽の光エネルギーを太陽電池により直接電気に変換する発電方法です。日本における導入量は、近年着実に伸びており、太陽光発電導入の実績では、中国、アメリカとともに世界をリードしています。エネルギー源が太陽光であるため、基本的には設置する地域に制限がなく、導入しやすいことや、災害時などに、貴重な非常用電源として使うことができるのが太陽光発電の特長です。

風力発電は、風のエネルギーを風車を介して電気エネルギーに変える発電方法です。2000年以降導入件数は急激に増え、2021年末で約2,570基、累積設備容量は約460万kWまで増加しています。大規模に発電できれば発電コストが火力発電並みであるため、経済性も確保できる可能性のあるエネルギー源であることや、太陽光発電と異なり、風さえあれば夜間でも発電できる点が特長です。

出典：資源エネルギー庁HP「なつく！再生可能エネルギー」
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saene/renewable/outline/index.html



再生可能エネルギー

なぜ、ゼロカーボンが必要なの？



人間のあらゆる生産活動で排出される温室効果ガスは地球温暖化の原因となっており、それらを減らすことが急務であると考えられているからです。

これからの住宅の形として、近年、「ZEH（ゼッチ）」が話題を集めています。

ZEHとは、net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略語で、家庭で使用するエネルギー消費を抑え、太陽光発電などで創るエネルギーを組み合わせることで1年間で消費するエネルギーの量を実質ゼロ以下にする家のことです。

ZEHが注目されている背景として、国内のエネルギー消費量の15.8%が家庭内のエネルギー消費となっていることが関係しています。家全体の断熱性や設備の効率化を高めることで、「夏は涼しく、冬は暖かい」という快適な室内環境を保てるので、冷暖房を過剰に使わず、家庭内のエネルギー消費を抑えることができます。

出典：「令和3年度エネルギーに関する 年次報告」（エネルギー白書2022）
資源エネルギー庁HP「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）に関する情報公開について」
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/housing/index03.html



図版出典：資源エネルギー庁HP「みんなでおうち快適化チャレンジ」
<https://ondankaisaku.env.go.jp/coolchoice/kaiteki/>

これからの住宅の形「ZEH」

こんなことも！ゼロカーボン

私たちが普段の生活に取り入れられることの中にも、ゼロカーボンを促進するものがあります。

01 脱使い捨てプラスチック

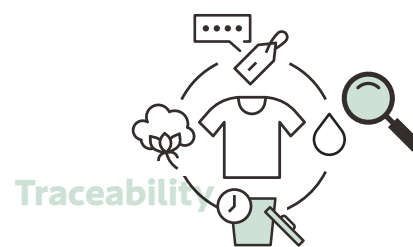
プラスチックは、生産から処分するまでのすべての過程において温室効果ガスを排出するため、地球温暖化に影響を与えます。また、海に流れ出るごみで一番割合が多いのがプラスチックごみで、全体の半分以上を占めています。そのため、使い捨てのプラスチックの生産量・使用量を減らす「脱使い捨てプラスチック」が注目されています。

⇒ 次のページでくわしく解説！

02 サステナブルファッション

私たちが着ている服の製造プロセスではCO₂が排出され、大量の水が使われます。また余った生地や売れ残りなどの廃棄物の問題など、衣服の生産に対する環境負荷は日々大きくなっています。このような状況を変えるために、作り手は長く着られる服作りや、トレーサビリティ※を確保することなどに関心が高まっており、また使い手も一着の服を長く着ることや生産の背景に目を配るなど、作り手と使い手、双方からのアプローチが重要となっています。

※流通についての情報を消費者自身が確認できる仕組み



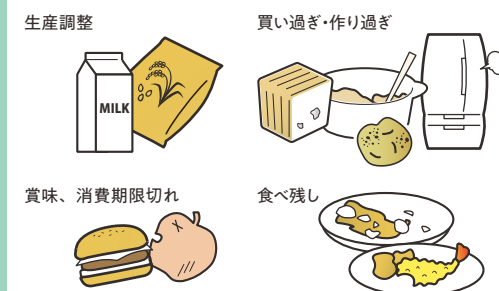
出典：環境省HP「サステナブルファッション」
https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

03 食品ロス削減

食品の6割を輸入している日本ですが、「食品ロス」の量は年間522万トンと推計されており、1人当たり毎日おにぎり1個分のまだ食べられる食料を捨てている状況です。生産や流通、消費の過程や、大量の食品を可燃ごみとして燃やすことで発生する、CO₂等の環境負荷が問題となっています。そのため、家庭や外食時の取組みだけでなくフードドライブ※で食品ロスを削減する活動などが注目されています。

※各家庭で使い切れない手つかずの食品（未利用食品）を受け入れ、地域の福祉団体やフードバンクなどを通じて必要とする人々に寄贈する活動。

●主な「食品ロス」の要因



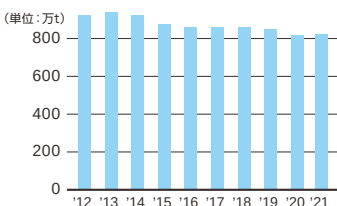
出典：内閣府HP 政府広報オンライン「今日からできる！家庭でできる食品ロス削減」
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/4.html>

よく聞く“脱使い捨てプラスチック”ってどういうことなの？

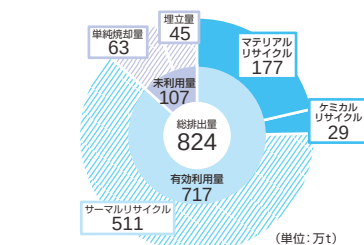
最近何かと話題になっている「脱使い捨てプラスチック」ですが、なぜ、今必要なのでしょうか？ それにはさまざまな理由 があります。



国内の廃プラスチックの排出量の推移



廃プラスチックの総排出量・有効利用／未利用量・有効利用率 (2021年)



注: マテリアルリサイクル量: 再生利用量
ケミカルリサイクル量: 高炉・コークス炉原料、ガス化(原料利用)、油化利用量
サーマルリサイクル量: ガス化(燃料利用)、固形燃料／セメント原料・燃料、
発電焼却、熱利用焼却利用量
有効利用率(%) = (有効利用量／廃プラ総排出量) × 100

出典: 一般社団法人 プラスチック循環利用協会
「プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況」
(2022年12月発行)

地球温暖化問題

プラスチックは、私たちの生活に欠かせないとても便利な素材です。
しかしその一方で、製造工程、運搬時に、また使い終わった後もごみの焼却時、リサイクル処理の工程と、多くの段階でCO₂を排出します。

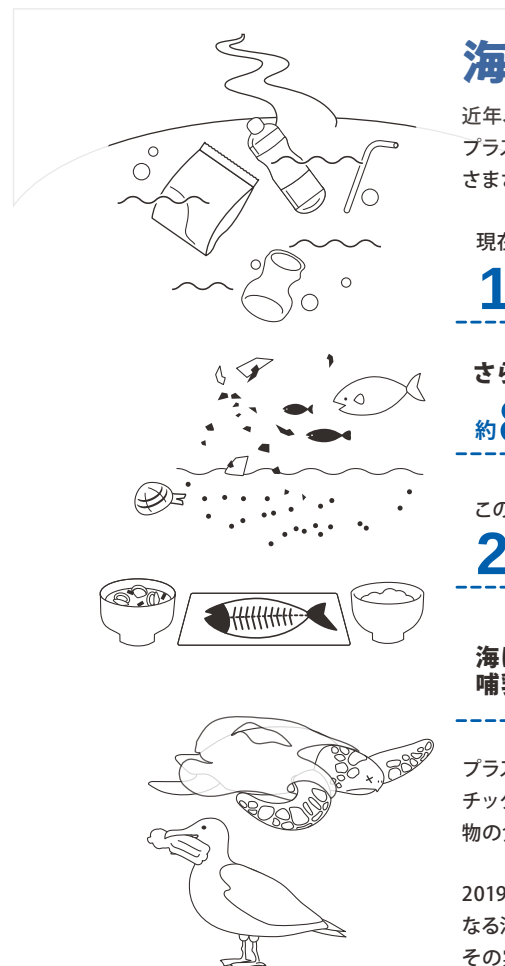
1年間に日本では
1,045万トン のプラスチックが生産されています。(2021年)

主に容器や包装に使われるプラスチックは、
国内のプラスチック生産量の **約6割** このほとんどは石油を原料としています。

1年間に日本で発生したプラスチックごみ (2021年) は、
824万トン このうち、約8割は二次利用されていますが…

再び資源として活用されるものは
約3割 残りの7割は、燃料などのエネルギー源に使われます。

プラスチックごみが焼却処理されたり、紫外線や水にさらされると、CO₂やメタンなどを排出します。これらは温室効果ガスの主な成分で、地球温暖化を促進する主な原因と言われています。近年の台風の大型化や熱波による森林火災などの自然災害を起こす気候変動の要因となっています。



海洋プラスチック問題

近年、海に流れるプラスチックごみが大きな問題となっています。
プラスチックごみは海を汚すだけでなく、海の生き物や私たち人間の生活環境にさまざまな影響を与えています。

現在、世界ではおよそ
1億5,000万トン のプラスチックごみが海に漂い、

さらに毎年
約800万トン が新たに発生していると言われています。

このペースで海に流れるプラスチックごみが増え続ければ
2050年 には、海にいる魚の量を超えと言われています。

海にいる
哺乳類の **約7割**、
鳥類の **約3割** がプラスチックごみの影響を受けているという調査結果があります。

プラスチックごみは、紫外線や水の影響で微小な“マイクロプラスチック(直径5mm以下の微細なプラスチック)”となり、自然分解されることなく、海の中を漂います。これらは有害物質を吸着しながら海の生物の食物連鎖に取り込まれ、最終的に人間の食卓に戻ってくることが懸念されています。

2019年6月に開催されたG20大阪サミットにおいて、2050年までに海洋プラスチックごみによる、さらなる汚染をなくすことを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されました。
その実現に向け、同月の「G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」において、「G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組」が採択され、G20首脳に承認されました。

回答者: 崎田裕子氏 (ジャーナリスト・環境カウンセラー)

Let's “脱使い捨てプラスチック” Q&A

Q. 今日から私たちに、できることは？

A. ライフスタイルを環境にいいものに
見直してみましょう！

1. マイバッグで買い物。小さくたたんで、いつも持っていればOK。
2. 近くの給水ポイントを調べて、マイボトルを使いこなそう！
3. まちの飲食店で木や紙のカトラリーなど、環境にいい取り組みを見つけたら、そのお店のファンになろう！
4. 旅行で宿に泊まる時は、使い捨てのアメニティを使わず、歯ブラシやくしを持っていこう。



Q. プラスチックごみのない未来に向けて、注目すべきことは？

A. 買い物で持ち帰る容器包装プラを減らせば、
プラごみのない未来が近づきます。
そんな未来に向けて様々な販売方法が
注目されています。

1. 来店客が容器を持参し、量り売りで野菜やお菓子などを購入できる、
バルクショップが注目を集めています。
2. お弁当やテイクアウトで、リユース容器や紙容器を使うお店が近年増えてきています。
3. 食品や日用品を専用のリユース容器で販売し、
回収、再使用するシステムが注目を集めています。



ナッツのバルクショップ(量り売り)の様子

Q. 新しい取り組みもいいけど、
大切にされてきたエコってなあに？

A. クールジャパン! とも言われている
日本のクールでエコな文化は、ザ・風呂敷！

1. なんでも包めて利便性の高い風呂敷は、
「MOTTAINAI」精神の代表的な製品です。
2. 結び方や柄にもそれぞれ意味があり、
日本の伝統として海外からも注目されています。
3. 最近はどんどんオシャレなデザインが増えてきて、
ファッションアイテムの一部にもなっています。



地球にやさしいアイテムや取り組みを積極的に取り入れて、
使い捨てプラスチックを大幅に減らしましょう。

エコギャラリー新宿が実施する環境コンテストの紹介です！

第16回 新宿エコワン・グランプリ

新宿エコワン・グランプリとは？

「ゼロカーボンシティ新宿」の実現やSDGsの達成に貢献する、新宿での環境や社会に良い活動および取組みを募集、審査し、優良な事例を「新宿エコワン・グランプリ」表彰式で表彰しています。受賞者の皆さまの取組みを、表彰式のなかで発表いただいたり、さまざまな媒体を通して発信していくことで、新宿をフィールドに、新たな環境活動をはじめのヒントやきっかけを提供することを目指しています。

大賞受賞者

個人・ファミリー部門

小山 裕三さん

新宿で“エコの学び”を広げるお手伝い。
「まち歩き」で新宿を知り、好きになり、かけがえのない「まち」になる。

受賞者コメント

エコギャラリー新宿主催の「エコリーダー養成講座」への参加をきっかけに、同講座の企画運営チームに14年間携わりました。2012年に講座修了生の会「新宿エコボジの会」を発足させ、約50名の会員の親睦と学習の継続を目指して講演会、施設見学会、まち歩きなどの企画、運営を行ってきました。2015年からは毎月1回、新宿区の“みどり(エコ)”と“歴史”を主テーマに「エコ・歴まち歩き」の企画、運営、ガイドを担当しています。
「人生100年時代」。社会の動きは早く、変動が多く、環境問題の取組みにも終わりはありません。学び直しや世代間交流を大事に、試行錯誤しながら活動を続け、発信していきます。

グループ部門

柏木野菜の森プロジェクト

柏木野菜の森プロジェクト

受賞者コメント

柏木小学校の屋上約1,000㎡に、企業の資材提供を受け、有志の保護者、子ども、協力企業の方々と一から畑をつくりました。約200名のメンバー、校内の複数の学年の子どもたちと行う活動では、有機の土壌改良剤と土を混ぜ合わせた土づくりから、苗の移植、管理、収穫、販売までを一貫して行い、一年間で約50種類以上の野菜を栽培しました。土に触れたことのない人や、スーパーに並べられている野菜しか見たことのない消費者に、野菜作りの面白さや収穫時の感激を味わってもらい、多くの共感と喜びを生んでいます。
今後も様々なセクターと連携し、価値の共有や拡大を図ってまいります。

環境にやさしい事業者部門

株式会社良品計画 MUJI新宿

循環型社会の実現に向けたロス削減の取組

受賞者コメント

「感じ良い暮らしと社会」の実現を目指し、フードドライブの常設設置、併設飲食店での廃棄予定食材(鶏皮)の再利用を実施しました。フードドライブでは約1,904kgを回収し、地域の福祉施設やNPO団体に寄付を行い、鶏皮は年間430kgの廃棄を再利用できました。
資源の有効活用として店内に衣類、布製品、PET容器の回収カウンターを設置し、回収した自社製品の衣類は新宿区内で染め直し、リサイクル品として店舗限定で販売しました。また、近隣の小学校への出張訪問ではコンポストについて共有し、区内中学校からの職場体験では自社、自店の取組みを紹介しました。今後も地域の学校や団体と協力し、住民を巻き込んだ“ごみを減らす活動”を広げていきます。



＼新宿エコワン・グランプリ くわしくはこちら！／
<https://www.shinjuku-ecocenter.jp/event/3777/>



活動中の小山さん



屋上の様子



染め直して再商品化された衣料品

エコギャラリー新宿は、環境をテーマとしたさまざまなコンテストを実施し、優れた取組みを表彰しています。2022年度受賞者の作品や活動をご紹介します。詳しくはHPをご覧ください。

ゼロカーボンシティ新宿特別賞

ゼロカーボンシティ新宿 特別賞とは？

区内の小・中学生を対象に、環境日記・環境絵画のコンテストを開催しています。子どもたちが応募してくれた作品の中から、ゼロカーボンに関連するテーマを取り上げた特に優れた作品を「ゼロカーボンシティ新宿 特別賞」として表彰しました。
新宿「みどりのカーテン」プロジェクトに参加し、ゼロカーボンシティ新宿の実現に向けて貢献された方の中で、「みどりのカーテン展(生育記録シートの展示会)」にて多くの支持を集めた方も同賞として表彰しました。

新宿の子どもたちが
ゼロカーボンシティについて
考え、発表してくれたよ！



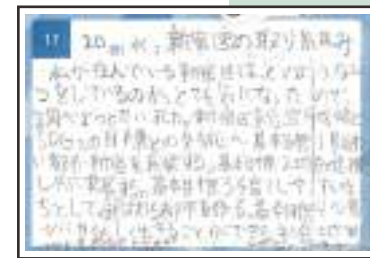
もんばん
ゼロカーボンシティ新宿
普及啓発キャラクター

シンポジウムの様子

2022年度新宿区

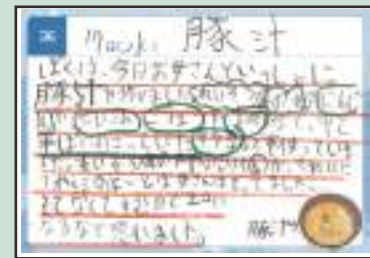
「みどりの小道」環境日記コンテスト

「みどりの小道」環境日記は、一般財団法人グリーンクロスジャパンにより、1999年からスタートしました。次世代を担う小学生を対象に、環境をテーマとした日記を書くことを通じて、日頃から身近な地球環境について考え、身のまわりで何ができるか、みんなで話し合い、行動してもらうことを目指す環境教育プロジェクトです。



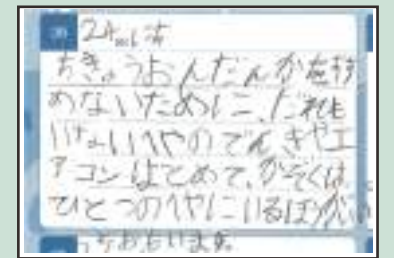
高田 結さん(市谷小学校 5年)

「新宿区総合戦略」を読み込んで、SDGsとの対応など、区の環境への取組みについて調べてくれました。



松本 啓さん(早稲田小学校 4年)

環境省が提唱している「ゼロカーボンアクション30」について調べ、「食品ロス」をテーマに活動してくれました。



石原 小翔奈さん(富久小学校 1年)

ご家族と協力しながら、日々の暮らしの中で地球温暖化とのつながりを見つけ、さまざまな実践をしてくれました。

＼「みどりの小道」環境日記コンテスト くわしくはこちら！／
<https://www.shinjuku-ecocenter.jp/midorinokomichi/>



2022年度新宿区

子ども環境絵画コンテスト



堀井 律さん(愛日小学校 3年)

「どっちの未来を選びますか？」



前田 千尋さん(江戸川小学校 4年)

「ビル風でエコな風力発電」



眞下 理子さん(早稲田小学校 4年)

「CO2±0を目指す」

子ども環境絵画 オンライン展覧会

区長賞をはじめ、受賞作品全31点をHP上でご覧いただけます。
子どもたちの各作品に込められた想いやメッセージを受け取り、環境のことを考え、行動するきっかけにしてみてください。

＼子ども環境絵画受賞作品はこちら！／

<https://www.shinjuku-ecocenter.jp/event/3598/>

